

**LIGARE**  
Business Seminar

バス、鉄度事業者・自治体に聞く  
次世代キャッシュレス決済・認証システム導入の課題と未来とは？

---

# 乗車券改札とEMV決済から見る 課題と展望

2023年1月20日

西日本鉄道株式会社 自動車事業本部  
未来モビリティ部 田中 昭彦

# 自己紹介

## 田中 昭彦 (Tanaka Akihiko)

1969年 福岡県生まれ

1992年 西日本鉄道(株)入社

主に自動車（バス）事業に従事

2007年 自動車事業本部 IT推進室 IC開発課長

交通系ICカード nimoca の開発・普及に従事

2019年 自動車事業本部 未来モビリティ部長（現職）

ネクスト・モビリティ株式会社代表取締役社長兼COO（現職）

交通システムを通じてバスや地域の課題解決に取り組んでMaaS

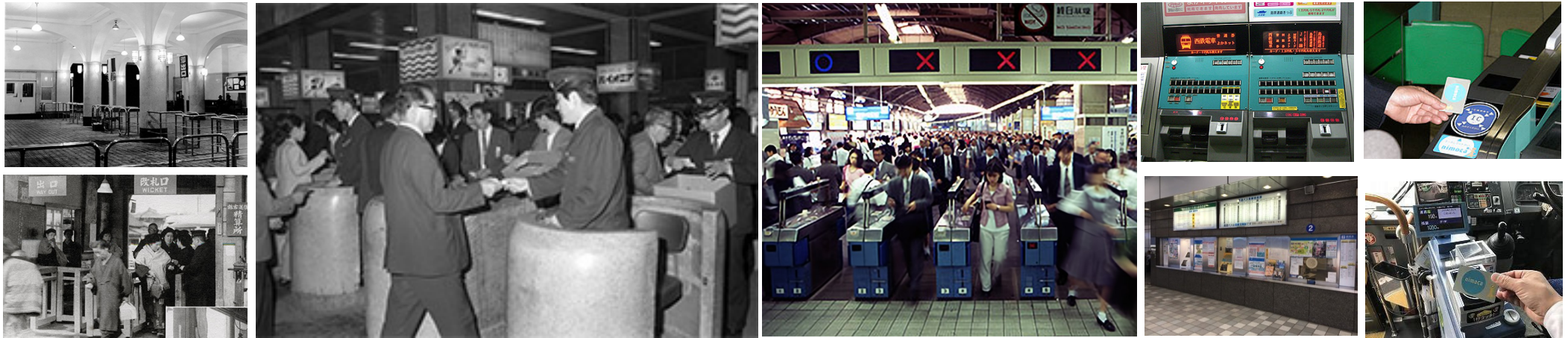
2023年 現在に至る



# 本日の話題

- 日本の改札から生まれたサイバネ規格による交通系ICカード
- 国際カードEMV規格によるクレジット決済
- キャッシュレスで何を実現させるのか？
- 課題と展望

# 改札から生まれたサイバネ規格による交通系ICカード



~1930

1960

2008

2023



# 交通系ICカードは、全国相互利用からまもなく10周年！



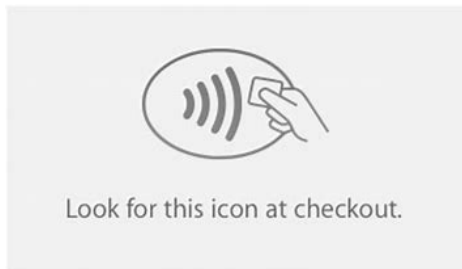
シームレスな利用  
環境の実現



# 多様化するキャッシュレス決済手段



# クレジットカード (EMV) 決済



**キャッシュレスで何を  
実現させたいの？**



# TEAM FUKUOKA : 国際金融をもつ都市になる！

- TEAM FUKUOKAは、国際金融機能の誘致活動に取り組む。



国際金融機能の誘致に向けたフォーラム（産経ニュース/ 2022/1/24）



西日本鉄道（福岡天神駅）

# VISAタッチに期待すること

- 訪日外国人観光客の誘客効果。
- 国際都市としての認知向上でビジネスがより活性化すること。

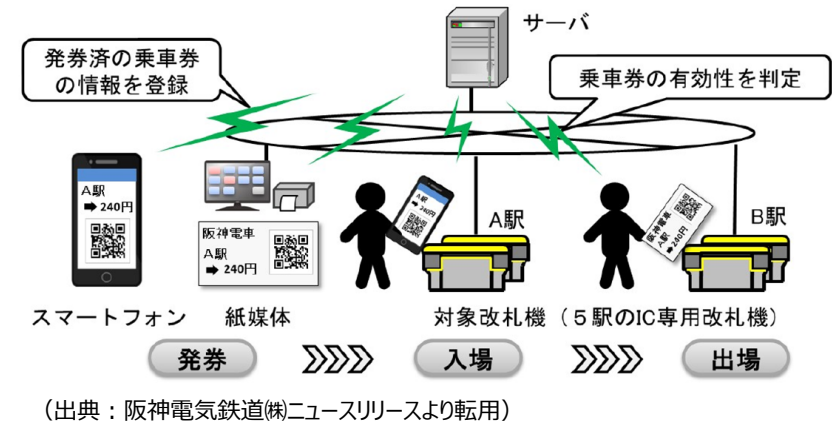


西日本鉄道（福岡天神駅）

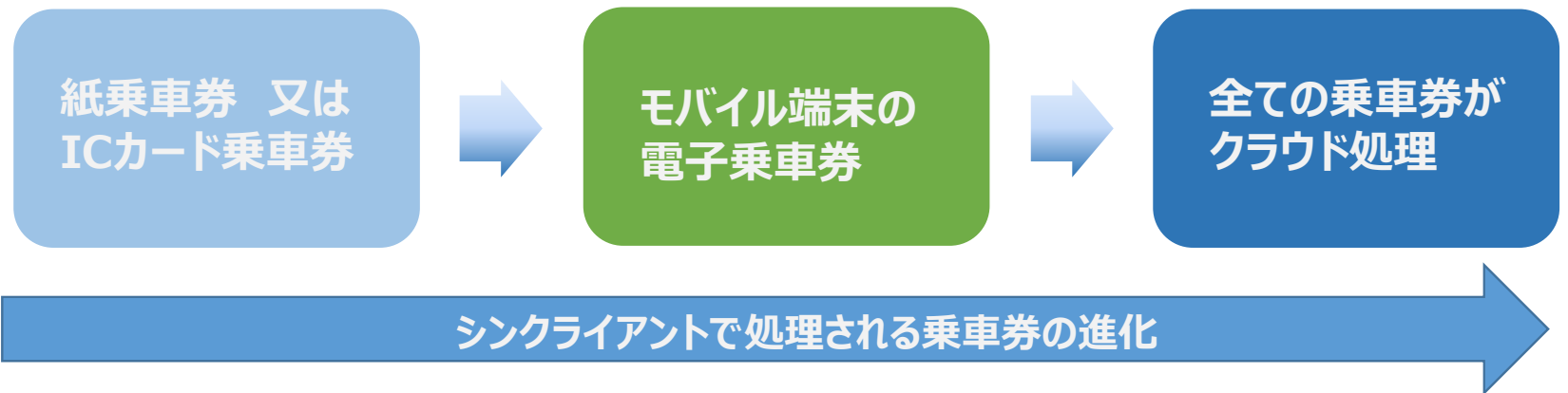


# 改札は駅務機器からデータ処理へ

- ABT (Account Based Ticketing) の登場
- クラウド化する改札、クラウド上での決済情報の精算
- バスは通信に課題があるがIoT化は自然な流れ。



JR東日本 (在来線改札機)





# 私たちの足元

- コロナで被った打撃からなかなか回復できない。乗務員の不足が深刻。
- 2024新札対応で券売機や運賃箱の更新時期を迎える。
- 交通系ICカードは利用エリア拡大、EMVも実証実験。
- IDを連携するサービスが登場（前橋市マイナ連携）



長崎・佐賀ICカードエリア拡大／JR九州



VISA改札機の実証実験／西日本鉄道



前橋版MaaS／前橋市



## 課題と展望

- 2つの潮流 = 「国内標準」と「国際化」

- ① 「国内標準」とは、日本国内であまねく普遍的な生活サービスが享受できること。

- 《例》 交通系ICカード相互利用、国内版コード決済によるキャッシュレス普及、  
日本版MaaS・マイナ連携 など

- ② 「国際化」とは、日本が世界を受け容れること、受け容れられること。

- 《例》 VISAタッチ（EMV規格／ISO）対応、ALIPAY・WechatPay対応、  
QRコード（ISO）利用推進、鉄道技術の国際技術協力、など

⇒ 【判断基準】 実現したいことは何か？